

## 第 165 回 森で遊ぶ会（蔦の細道）実施報告書

### ～蔦の細道と明治の東海道を歩く～

日時：令和1年10月16日（水） 10時15分～14時45分

場所：静岡市葵区宇津ノ谷地区 蔦の細道～明治のトンネル

参加者：男性6人 女性18人 合計24人

担当幹事：青野、杉山

アシスト会員：中川、高橋、小久保、小嶋

#### 《観察会の様子》

何故か、天気予報どおりの空模様ではなく少々心配であったが、3班に分けられたグループは古道歩きに順次出発した。蔦の細道の静岡側は“シダの細道”と言ってよいほど色々のシダがありクルマシダ、フモトシダ、ミゾシダ、ベニシダ、シケチシダ、ヘラシダ等を説明した。翼があるクルマシダ、翼がないフモトシダの違いを“欲がある、欲がない”にたとえた愉快的な解説に皆さんから笑いが出た。一面にヤブミョウガが生えている所では、「ミョウガは生えていないの？」という声も。しかしその黒い実からケシ粒のように小さなタネを取り出し、予め用意したその拡大写真を見せると、期待通り「オ～ォ！」と驚きの声。「確かにコンクリートブロックみたい。でもこの真ん中の孔は何のため？」と予想外の質問も出て、答えに窮する羽目にもなった。「石垣みたい！」との感想。うまい表現だなーと感心し、次回から「石垣のような種」と説明しよう。それから近くに生育するハナミョウガとの違いも確認した。またシンミズヒキの花をしげしげと見ていた人から「よく見ると綺麗」という声が上がったので、すかさずルーペつきスマホのカメラで花を撮影して皆さんに見てもらった。ツルニンジンも残っていて、興味深そうにのぞき込んでいた。峠近くでは、ネナシカズラがハナイカダに巻き付いていたので見もらった。「根も葉もないのにどうして生きているの？」との質問に、寄生植物で他の植物から養分をもらっていることを説明した。このようにしてかなり急登の静岡側の坂道を難なく登ることができた。在原業平の歌碑がある峠で一休み、あいにく富士山は見られなかったが心地よい風に出会うことができた。

岡部側への下りは台風による大雨の影響で道に水が流れているところもあり注意して下った。こちらではカラスウリ、スズメウリが人気でぶら下げて帰った人もいた。人気の理由は、カラスウリの種が“打ち出の小づち”に似ているからかもしれない。アオツヅラフジの実では、定番のアンモナイトもルーペで見ってもらった。また、アマチャヅルの葉は甘く、一時アマチャヅルを乾燥し、お茶として飲まれたことを話し実際に噛んでみた。甘味は確かにあった。猫石では、古代信仰で石をご神体としたことを説明し「今、皆さんは神域に居るのですよ。」と話すと「エー！」との反応。

歩いていると林床には一面にフユイチゴが見られた。実はまだ付けていなかったが「私は毎年、この実を集めてジャムを作っています。もの凄く手間がかかりますが、独特の香りがして病みつきになります。」と紹介した。皆さんは驚きの表情と共に、「何月ごろになれば、採れるの？どこに多い？」と真剣な質問も出た。いつものことだが、「これは食べられるか？」という話になると、俄然関心が集まる。今回、実際にいくつかの味覚体験もしていただいた。イヌマキの実（殆どが落ちて

いたので、泥を払いながらの試食)では「甘～い、ゼリーみたい」、ヤマノイモのムカゴでは「エ～、生で食べられるの?」、ムクノキの実(まだ時期が早いので、熟したものはごく僅かだったが)も「干し葡萄みたい」と、いずれも好評だった。公園に下ってくるとカツラの葉のいい匂いを楽しんだ。マメ科の植物観察も今回のテーマの一つだったので、ノササゲ、ヤブマメ、ヤブツルマメの花や葉、果実を比較し違いを確認した。その他、旧東海道ではママコノシリヌグイとイシミカワの葉っぱの出方の違いを確認した。この他にも、蔦の細道の名称のとおり、数多くのつる性植物を多く見ることができた。参考までに、下に一覧表としてまとめた。

天候も暑くもなく寒くもなく、古人が心細く通った細道を楽しくにぎやかに通ることができた。珍しい植物や美しい花々が見られた訳ではないが、一見何もない林の中やゴチャゴチャした藪の中でも、注意深く見ると色々面白い気づきがあることにも目を向けてもらえたと思う。一方で、そういう目を養うためには何度もこうした観察会に足を運ぶことが大切、ということもご理解いただけたのではないだろうか。

### 《宇津ノ谷峠周辺のつる植物》

No.	種名	科名	No.	種名	科名
1	ツルニンジン	キキョウ	13	カナムグラ	アサ
2	テイカカズラ	キョウチクトウ	14	ママコノシリヌグイ	タデ
3	フウトウカズラ	コショウ	15	イシミカワ	タデ
4	アマチャヅル	ウリ	16	センニンソウ	キンポウゲ
5	キツタ	ウコギ	17	カラスウリ	ウリ
6	アオツツラフジ	ツツラフジ	18	スズメウリ	ウリ
7	ヤマノイモ	ヤマノイモ	19	ノササゲ	マメ
8	オニドコロ	ヤマノイモ	20	ヤブマメ	マメ
9	アケビ	アケビ	21	ヤブツルアズキ	マメ
10	ヤブガラシ	ブドウ	22	トキリマメ	マメ
11	サネカズラ	マツブサ	23	クズ	マメ
12	ネナシカズラ	ヒルガオ	番外	ムベ	アケビ

《写真》





これはアマチャヅル



滑るから慎重に



これ食べられるのかしら？



レンガ造りのトンネルがー



ヤブツルアズキの花は...



こんな所でも

(杉山、記)